

トマト特有の香りの正体について調べ、香りが強い部位を確認しよう

期間目安	1日	費用目安	低
研究タイプ	調査・観察	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

ミニトマトの葉や実から感じる独特な青臭い香りの正体（香り成分）を文献やインターネットで調べ、実際に香りが強い部位を確認します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 葉の方が実より香りが強いのではないか
- 傷つけたときの方が香りが強くなるのではないか

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- ミニトマトの葉・茎・実
- 図書館の本や信頼できるウェブサイト
- 記録シート

4. 手順

- 香り成分に関する資料を調べてまとめる
- 葉・茎・実それぞれの香りを嗅いで比較する
- 傷つけた場合と傷つけない場合で香りを比較する
- 調べたことと実際の感覚を照らし合わせてまとめる

5. 記録シートの例

部位	香りの強さ	香りの特徴	調べてわかったこと

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 引用した資料は出典を明記する
- 複数の資料で情報を確認する

7. まとめ方・考察のポイント

- 香り成分の役割（虫よけなど）について考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと

